

令和5年4月28日 (令和5(2023)年度第5号)



# 全国保育士会委員ニュース

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国保育士会事務局

〒100-8980  
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL 03-3581-6503  
FAX 03-3581-6509  
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp  
<https://www.z-hoikushikai.com>

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

<ニュースの内容>

- 「第56回 全国保育士会研究大会」(静岡大会) 開催のご案内  
～どうする日本の保育、ふじのくにから<sup>あす</sup>未来の保育を考える～
- 令和5年度「児童福祉週間」が始まります  
～小さなて みんなではぐくみ 育ててく～

## ■ 「第56回 全国保育士会研究大会」(静岡大会)開催のご案内 ～どうする日本の保育、ふじのくにから<sup>あす</sup>未来の保育を考える～

全国保育士会研究大会 第56回

開催要項

子どもの<sup>あす</sup>現在と未来を支える保育の実現  
—どうする日本の保育、ふじのくにから<sup>あす</sup>未来の保育を考える—

令和5年10月19日(木)・20日(金)  
アクティシティ浜松 他  
〒430-0528 静岡県浜松市中区浜原町111-1 他

主催 社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育士会・全国児童福祉協議会・全国児童福祉士会  
共催 全国保育士会 静岡県保育士会  
実行委員 静岡県保育士会  
後援(予定) 社会福祉部 静岡県 浜松市 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 一般社団法人静岡県保育士会

本会では、第56回全国保育士会研究大会を、令和5年10月19日(木)・20日(金)に、静岡県浜松市にて、4年ぶりとなる参集により開催します。

本研究大会は、子どもの最善の利益を尊重し、豊かな育ちを保障するために、保育者一人ひとりが知識の研鑽を積むとともに、保育の研究を深めていくことを目的に開催するものです。

2日目の実践研究分科会では、学識者による解説を交えながら、1年をかけて積み上げた実践研究に触れることにより、自らの保育実践の振り返りや新たな取り組みの創出につながるなど、非常に多くの学びを得ることが出来ます。

また、記念講演では加藤 英明 氏(静岡大学教育学部准教授)に、絶滅の恐れのある生物の保護や外来生物が生態系に与える影響の研究等の活動も踏まえながら、生き物を守ることにしてお話しいたします。

さらに、本年度設置された「こども家庭庁」より、保育制度の動向等に関する説明も予

定しています。

多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

### 【第 56 回全国保育士会研究大会の概要】

期 日：令和 5 年 10 月 19 日（木）・20 日（金）  
会 場：アクトシティ浜松 他（静岡県浜松市）  
主 催：全国社会福祉協議会・全国保育士会／全国保育協議会  
静岡県保育士会  
参 加 費：会員 15,000 円、会員ではない方 20,000 円、学生 5,000 円  
申込締切：令和 5 年 9 月 4 日（月）  
内 容：・オープニングアトラクション／浜松徳川武将隊  
・基調報告／全国保育士会 会長  
・行政説明／こども家庭庁 成育局 保育政策課  
・記念講演／加藤 英明 氏（静岡大学教育学部准教授）  
・実践研究分科会（第 1～8 分科会、特別分科会）

開催要項および参加申し込みは、下記 URL をご参照ください。

【開催要項】全国保育士会トップページ > 研修会 > 「第 56 回全国保育士会研究大会」開催要項  
および参加申し込み専用サイトを掲載しました

<https://www.z-hoikushikai.com>



【参加申込】「第 56 回 全国保育士会研究大会」申し込み受付サイト（名鉄観光サービス）

<https://www.mwt-mice.com/events/2023hoikushikai56>



## ■ 令和5年度「児童福祉週間」が始まります

～小さなて みんなではぐくみ 育ててく～



「児童福祉週間」は、毎年5月5日からの1週間、子どもの健やかな成長や、子どもや家庭を取り巻く環境について国民全体で考えることを目的とするものです。

令和5年度は、全国から応募された 5,672 点から選ばれた、<sup>たけしま いつき</sup>竹島 一輝さん（兵庫県・15 歳）の標語「小さなて みんなではぐくみ 育ててく」と、えがしら みちこ さん（絵本作家）が作成されたポスターをシンボルとして、児童福祉の普及や啓発のための取り組みが全国で展開されます。

児童福祉週間の主旨である児童福祉の理念の理解促進等に向けて、貴組織・施設においても周知等の取り組みをお願いいたします。

4月24日（月）、児童福祉週間の開始に先立ち、主唱3団体（こども家庭庁、全国社会福祉協議会、児童育成協会）の共催による「こいのぼり掲揚式」が実施されました。

掲揚式では、小倉将信内閣府特命担当大臣による標語の最優秀作品受賞者である竹島一輝さんへの表彰や、保育園児やさかなクン（東京海洋大学客員教授）、霧馬山関（大相撲3月場所優勝力士）等を招いての「こいのぼり」の掲揚が行われました。

掲揚式には、全国保育士会の北野久美副会長や全国保育協議会の奥村尚三会長も出席し、子どもの最善の利益が保障される社会を願いながら、園児や関係者とともにこいのぼりを掲揚しました。



挨拶をする小倉大臣



力を合わせてこいのぼりを掲揚



こいのぼりを掲揚する園児と北野副会長



空高く掲揚されたこいのぼり

なお、「児童福祉週間」の実施要領等は、こども家庭庁ホームページで公表されています。

■ こども家庭庁トップページ > 政策 > 子ども・子育て支援 > 児童福祉週間

<https://www.cfa.go.jp/policies/kosodateshien/jidou-fukushi-shuukan/>